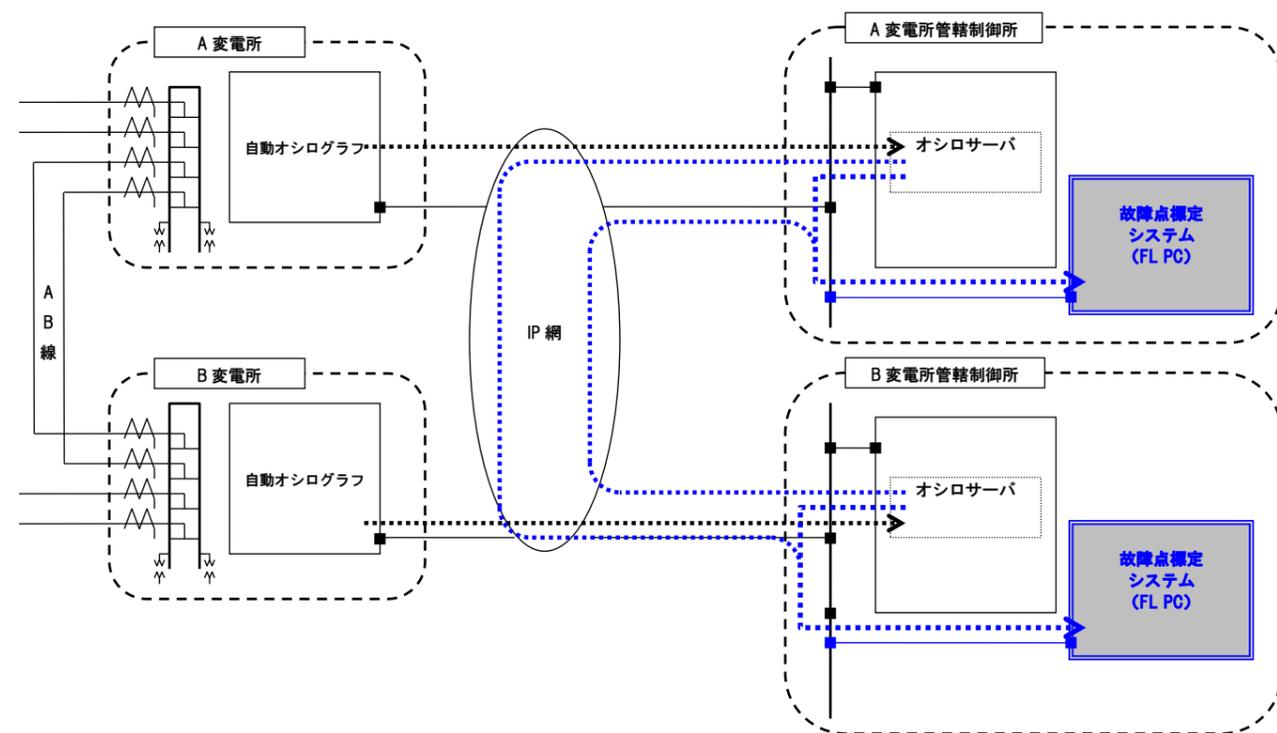


オシロ波形活用型 送電線故障点標定システム

概要

自動オシログラフの波形データを活用した故障点標定システムです。オシログラフが設置されている電気所では、新たに装置を設置する必要がありません。また、対象送電線の電流が取り込まれていれば、取り込み要素の引き出し、接続などの電気工事も不要で安価に標定システムが構築できます。

システム構築例



有人の制御所等に故障点標定システム (FL PC) を設置。

- ① オシロサーバから、対象送電線のオシロデータを該当のFL PCに送信。
- ② データを受信したFL PCにて自動演算を行い、標定結果を画面に表示。

※両端判定方式を採用する場合は、各電気所の自動オシログラフに、GPS受信機を追加。

標定結果画面例

結果出力

系統名称: A-B線

候補: 1 / 2

事故時刻: 02-02-08 19:29:03

事故区間: AB線 #40TW ~ B変電所

事故地点: A変電所より 31.89km

事故様相: 2L R 相 本線

詳細 転送 印刷 保存 キャンセル

詳細画面例

標定結果詳細

系統名称: A-B線
事故時刻: 02-02-08 19:29:03
候補: 1 / 2

標定結果
事故区間: AB線 #40TW ~ B変電所
事故地点: A変電所より 31.89km
事故様相: 2L R 相 本線

簡易系統図

標定条件

| | オシロデータ | C/Bデータ | PQデータ |
|------|-------------------|-------------------|-------------------------|
| A変電所 | ○ | 1L: ON 2L: ON | -- |
| B変電所 | 02-02-08 19:29:03 | 1L: ON 2L: OFF | 負荷: 60.000MW 0.000MVar |
| C発電所 | -- | 1L: ON 2L: OFF | 発電機: 20.000MW 0.000MVar |
| D変電所 | -- | 1L: OFF 2L: ON | 負荷: 10.000MW 0.000MVar |

次候補 印刷 転送 条件編集 再標定 保存 キャンセル